

建設環境常任委員会会議記録（概要）

令和6年12月6日（金）

開 会 （午前9時15分）

【議 事】

議案第121号「所沢駅ふれあい通り線整備工事（その7）請負契約

締結について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

大館委員長

議案第121号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休 憩（午前9時16分）

（説明員 交代）

再 開（午前9時17分）

議案第120号「北野下富線(4工区)道路築造工事(下部工その1)

請負契約締結についての一部変更について」

【補足説明】なし

【質 疑】

小林委員

議案資料ナンバー1に記載のある「安全設備の減工及び橋りょうの落橋防止施設の増工」とはどのようなものか。

岩崎道路建設
課長

安全設備の減工につきましては、今回の橋脚を2基設置する工事箇所は鉄道と近接しておりまして、近接する場所を施工する場合は、列車に対する安全対策を講じなければならないため、その対策として、列車停止装置、監視員の配置、それからレールの変位測定等の安全設備を設けることを予定していましたが、西武鉄道株式会社と協議したところ、列車停止装置については不要という話がありましたので、その部分を減工するものです。

また、橋りょうの落橋防止施設につきましては、例えば大きな地震があった際に、橋桁が落下しないように設ける施設でございますが、橋脚と橋桁をワイヤーで連結するための施設の一部であるアンカーボルトを橋脚に埋め込む工事を追加で増工させていただくものとなります。

【質疑終結】

【意 見】なし

大館委員長

【採 決】

議案第120号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第122号「市道路線の認定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

大館委員長

議案第122号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休 憩（午前9時21分）

（説明員 交代）

再 開（午前9時22分）

請願第2号「所沢市議会は、市長が除染土実証事業の中止を環境省に
文書で申し入れるよう求めて下さい。」

【補足説明】なし

【質 疑】

末吉委員

この除染土の実証事業は、2022年度に環境省から環境調査研修所で
事業を行うということで話があり、市長、市議会、それから地元自治会か
らそれぞれ反対の意思を表明した。その後に環境省から何らかのアクショ
ンはあったのか。

三浦環境対策
課長

環境省からは、その後、特にございません。

末吉委員

12月4日の読売新聞で、「福島第一原発の除染土処理、「全閣僚会議」
新設へ」という記事が出たが、このことについて把握している部分はある
のか。

また、環境省から所沢市に対して、何らかのアクションはあったのか。

三浦環境対策
課長

記事の内容については、事前に把握しておらず、紙面にて知ったという
のが現状でございます。

また、国から市に対してのアクションはございませんでした。

末吉委員

今後、国はどのようにしていく方針にあるか、記事の抜粋でも構わないので、分かっている範囲で説明してほしい。

三浦環境対策
課長

読売新聞の記事から抜粋すると、政府の方は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴って発生した、除染土の処理に向けて、具体策を検討する全閣僚会議を設置し、12月中に初回会合を開く方針を固めています。2045年までに福島県外で全量を最終処分する必要があるが、受入先の確保などで課題が指摘されているので、省庁横断で取り組むことで対応を加速させる狙いの下、会議を開催するというようなものになります。

末吉委員

2022年度に新宿区や所沢市などに対して要請があったわけだが、それについては次の局面に入り、横断的に新しい議論が始まっていくという理解でよろしいか。

また、環境クリーン部としてはどう受け止めているか。

三浦環境対策
課長

こちらの記事からでは、市内で実証事業をやってから次のステップに行くのか、それとも市内で実証事業をせずに行くのかというのは、全くもってわからない状況でございます。

しかし、2045年までに除去土壌をなんとかしないといけないというのは確かなところですので、そこに向けて一所懸命に進めているというのは感じております。

小林委員

環境省の姿勢は全くわからないという旨の答弁かと思うが、わからないということは、まだそのまま残っているとも考えられることなのか。

また、環境対策課では、もう諦めているとかいうのもつかんでいないわけで、環境省に直接聞いたりはしていないのか。

三浦環境対策
課長

小林委員ご指摘の通り、市内で実証事業をやるかやらないかは全くわからない状況にあります。また、市内での実証事業の可能性が残っているかについても判断できかねています。

小林委員

そうすると、環境省としては全くやりませんという否定はしてないということか。

三浦環境対策
課長

否定も肯定もしておらず、市内での実証事業の可能性に言及をしていないといったところが正しい認識かと思われます。

秋田委員

読売新聞の記事では、各自治体にお願いをしても、除染土の受け入れには反対が多いから困っているというような記事だったかと思うが、まだまっさらな状態ということか。

三浦環境対策

最終処分の土壌がどこの自治体に行くのかというのは、全く決まってお

課長

りません。

小林委員

確認になるが、除染土については福島県の方に貯蔵されているかと思うが、それらは拡散せずに保管することになっているのか。

三浦環境対策

除去された土壌は、現在は中間貯蔵施設にて保管されています。

課長

【質疑終結】

【意見】

末吉委員

除染土の処理については、国で横断的に取り組んでいくという、ある意味、また議論に入っていくという説明がありました。

また、これまでの委員会審査の中で何回か議論があったかと思いますが、地元自治会の皆さんは一度反対の意思を表明しています。福島メディアから取材の依頼があったときには、もうこの話は終わっていると伝えており、市長も市議会も地元自治会も反対の意思を表明しており、この話はもう終わったものと考えていて、新しいことが起こってくるまでは静かにしてほしいというふうに、この請願とは関係のない場面で私は聞きました。

そのため、新しい事態が起こってきた時に、そのことに対して所沢市議会は動きを起こしていけば良いのではないかというふうに思いますし、その際には、所沢市長や地元自治会の皆様にも、同じように意思を示してい

ただけなら良いのかなというふうに思っております。

したがって、この請願のまま継続していくということは、あまり良いことではないと思いますので、不採択とすべきだと主張します。

【意見終結】

【採 決】

大館委員長

請願第2号については、挙手少数により、不採択とすべきものと決する。

休 憩（午前9時34分）

（説明員 退室）

再 開（午前9時35分）

閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

大館委員長

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと決定した。

○その他

・現地調査について

大館委員長

柳瀬地区に整備中の第2一般廃棄物最終処分場について、1月20日または1月21日に現地視察を行うことでよろしいでしょうか。

（委員了承）

散 会（午前9時43分）

特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

令和6年第4回(12月)定例会

建設環境常任委員会

- 1 環境との共生について
- 2 環境保全について
- 3 みどりの保全・公園の整備について
- 4 廃棄物の減量・資源の循環について
- 5 交通政策について
- 6 住宅・住環境について
- 7 市街地整備について
- 8 土地利用について
- 9 道路について
- 10 健全な水環境の保全 河川・水路 について
- 11 上水道について
- 12 下水道について